

町田市議会議員

～ 町田市政に新風を！ ～

渡辺げんたろう

市政通信



昭和 48 年 町田市玉川学園生まれ 玉川学園在住
玉川中央幼稚園／町田市立第五小／町田市立南大谷中／都立町田高校／
日本大学法学部法律学科卒／新光証券(現みずほ証券)勤務／保険代理店勤務
平成 22 年町田市議会初当選 平成 26 年 2 期目当選
消防団第一分団第五部部长／エイサー町田琉二代目会長／消防少年団副団長／神輿会「幸神睦」会員

党利、党略、政局よりも 町田が良くなることを 第一義に！

活動の詳細は → [フェイスブック（渡辺徹太郎）](#)・[ブログ（渡辺げんたろう）](#) で検索

私、渡辺 徹太郎は皆様のご支援のもと、町田市議会議員となって 2 期 6 年となります。

今や全国的な傾向として、超高齢化社会の到来、少子化による人口減少は、国の命運までも左右する大きな課題となっています。ここ町田市においても、社会福祉費や医療費の毎年の増大に加え、都市部から地方への財源移譲問題も新たに発生し、市財政は大変厳しくなっています。

国においては、各地域がそれぞれの特徴を活かし、「地方創生」の理念を掲げ、持続的な社会を創出し、1 人 1 人が輝ける社会を目指すとはありますが、現時点では実効的な手立ては未だ不明な点が散見されます。

私は、これらの事は各地域が、限られた地方財源や定住人口を奪い合うという「現状維持」の発想の域をでない政策を続けているだけで、本来的な問題の解決にはならないと思います。

いち地方議員として、今改めて必要な事は、広く各地域の結びつきを深め、共存共栄により新たな魅力を創出し、地域の発展を目指す、「成長的な政策」だと思っています。

そこで私は、町田市から南方 10 キロにあります **アメリカ海軍厚木基地の軍民共用化** を考えました。厚木基地では、2017 年に米空母機動部隊が、岩国に移転することが予定されています。

賛否両論あると思いますが、私は、東京オリンピックを控え、日本の国際競争力の向上や首都圏西部地域の経済活性化に、厚木基地の軍民共用化が資すると思っております。

以前、横田基地の軍民共用化が話題になった際には、1,610 億円の経済効果と 8,850 人の雇用効果があると試算されましたが、現在、計画はとん挫しています。

通常、空港建設には、地元住民の反対等が予想されますが、町田市を含む厚木基地周辺は、長年 F18 などの戦闘機が爆音をとどろかせて飛行しておりますので、戦闘機から民間機への転換は、騒音も 10 分の 1 程度になることから、むしろ歓迎されると思います。

裏面へ続きます

厚木基地の滑走路は2,438mあり、一般的な国際空港としても申し分なく活用できる距離を有しています。

成田・羽田と厚木とで国際便を分散化することで、世界一使用頻度が高く、超過密でこれ以上の拡充は望めない羽田空港の渋滞の緩和になる上、日本の輸送力・国際競争力の向上、そして、町田の魅力向上に効果があると思います。

実現に向けて取り組むには、町田市議会議員としてはあきらかに職域を超える内容ですが、私は、東京オリンピックと米空母機動部隊の厚木からの移転は、最大のチャンスだと思っています。

「今は当たり前のことでも、10年前は夢だったはず。夢のようなことも努力すれば実現される。」という自らのモットーを胸に、石破茂大臣をはじめ、国会議員の方々、都議や県議、綾瀬市、大和市、厚木市、海老名市、相模原市の市会議員の皆様と手を取って邁進したく思っておりますので、今後ともご支援賜りますよう宜しくお願い致します。

これ以外にも、多方面にわたり、全力で邁進しています！

例えば・・【災害時の情報伝達について行政に問う】

消防団に新たに導入されたデジタル無線機が全くつながらない。

行政の最重要課題である災害時の情報伝達について、いかに考えるか。

アマチュア無線の利用や規制の緩和促進等、早急な改善策を求める。

⇒ 【行政の回答】情報の伝達は災害時で一番重要だと考えている。
国に働きかけを行うとともに、アマチュア無線の活用を早期に実現していきたい。



石破茂大臣と内閣府にて



麻生太郎大臣と財務省にて